本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
岡支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北兵支社	〒569	高槻市緑の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池柏屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町寺家29－1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三原町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
浦岡支社	〒525	草津市追分町字荒堀 680の1	☎草津 0775(52) 5311
札幌支社	〒622	登別市大東町12番11号	☎札幌 0743(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

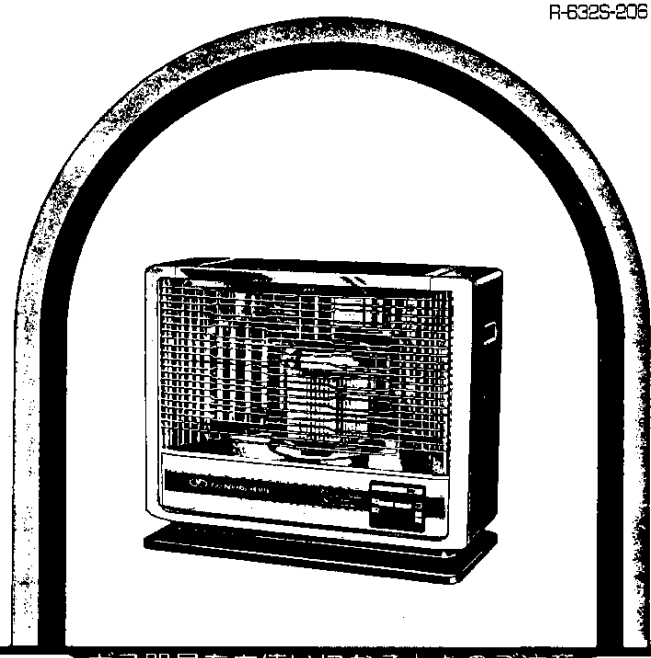
大阪ガス株式会社

大阪ガス

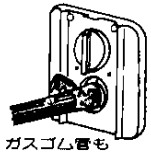
ガス 赤外線ストーブ
取扱説明書 43-513B・43-622型

保証書付

型式 R-632S-205 R-632S-201
R-632S-206 R-632S-202



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと

ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を

ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブをお求めいただきありがとうございました。

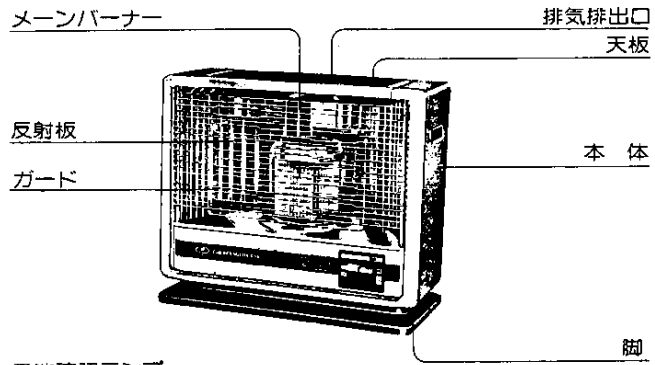
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

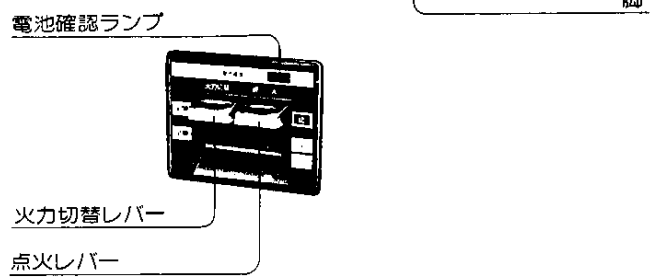
もくじ

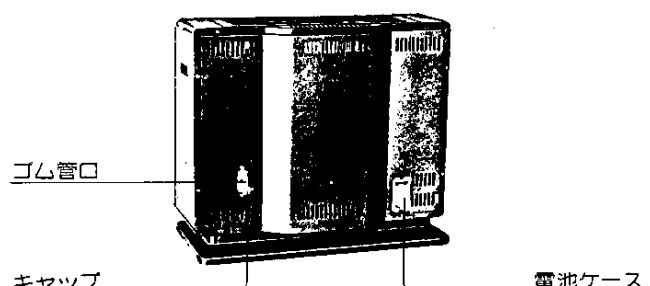
- 各部の名称……1
- 特に注意していただきたいこと……2
- 器具の設置……8
- 使用手順……10
- 使用時のご注意……13
- 日常の点検・お手入れ……15
- 故障・異常の見分け方と処置方法……17
- アフターサービスのお申し込み……18
- 長期間使用しない場合……19
- 特　長……19
- 寸法図と仕様一覧……20

各部の名称

この器具は電池式連続放電点火式を採用していますので乾電池が必ず必要です。
くわしくは16ページ「部品の交換」をご覧ください。







取りはずしてご使用ください。

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか確かめてください。

（銘　板）

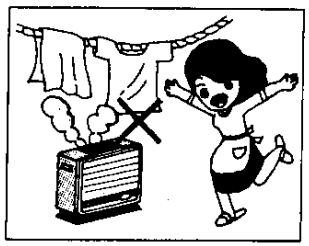
メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

●都市ガス
6C・6A用
●都市ガス
13A用
●LPガス用

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

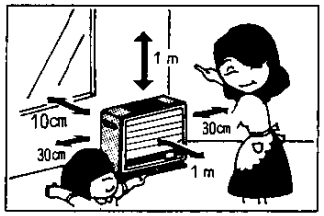
用途についてのご注意

●暖房以外の用途（洗たく物の乾燥など）には使用しないでください。

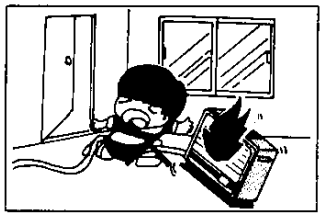


使用場所についてのご注意

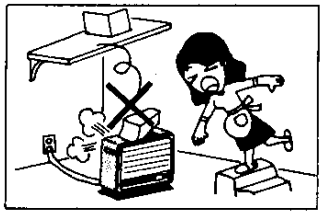
●家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
後の壁から10cm、横の壁から30cm、前方および上方１ｍ以内に家具、建具などのない安全な正しい位置を選んでください。



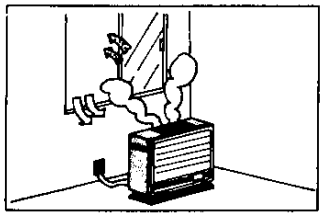
●部屋の出入口など人の通るところや強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
風で吹き消されたり、やけどや転倒の危険があります。



●たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

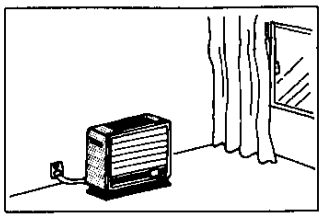


●換気（給気、排気）が、じゅうぶんできるところに設置するか、換気できるようにして使用してください。



特に注意していただきたいこと③

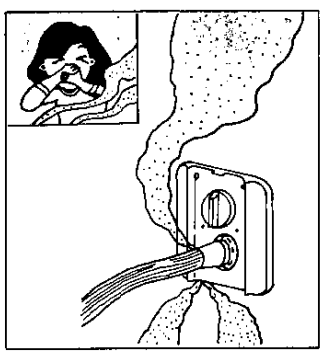
●器具の設置はお部屋の元せん近くをお選びください。
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりして、ストーブをひっくりかえすおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くに設置してください。



使用上のご注意

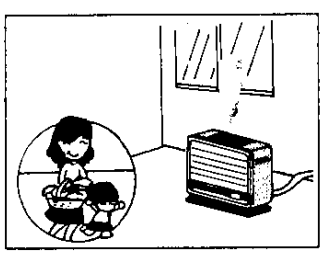
ガス漏れ予防

ゴム管は良質のものを用い、時々とりかえてください。
（ゴム管のおとりかえの目やすは約３年です）
ゴム管が古くなりますと、元せんやゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。



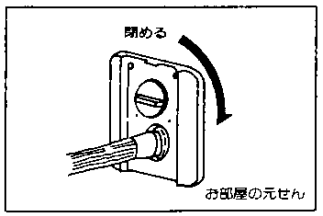
●ゴム管は、ガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

●ストーブをご使用中は決して外出しないでください。



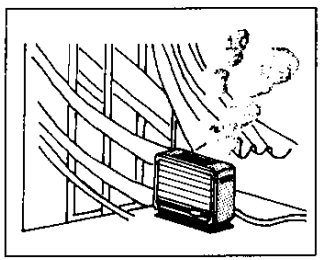
特に注意していただきたいこと④

●器具をご使用にならないときや、外出前またおやすみ前には、万一の事故がないように、必ずお部屋の元せんをしめてください。

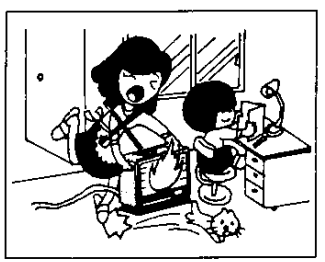


火災予防

●器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。



●使用中は、火をつけたまま器具を移動させないでください。
火災や、やけどのおそれがあり危険です。

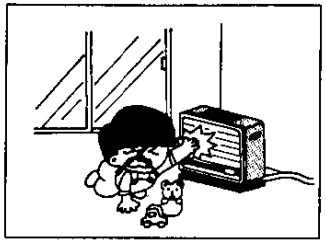


●器具の中へ物を入れないでください。
器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう、入らないように注意してください。
万一物が入った場合はすぐに器具の外へ出すようにしてください。

特に注意していただきたいこと⑤

やけどのご注意

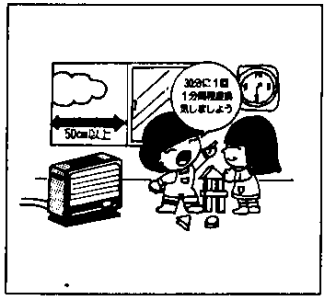
●ご使用中およびご使用直後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



●器具の上には、なべややかんなどをのせないでください。
お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。

換気のご注意

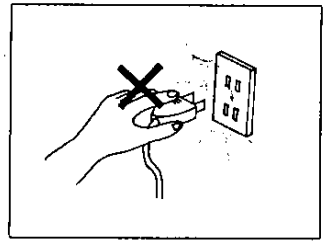
●ストーブを使用中は30分に１回１分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



特に注意していただきたいこと⑥

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてお部屋の元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。



<ご注意>
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。
スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどの火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、お部屋の元せん閉止)してじゅうぶんな点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください。〕

日常の点検、手入れ

●器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。
〔点検・手入れの方法については15ページをお読みください。〕

●故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。
万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

●テープを取り除いてください。
輸送による部品の脱落を防止するために、ガードなどをテープ止めしてありますので取り除いてください。

●ゴム管口のキャップを取りはずしてください。
ゴム管口には輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。
また、シーズンオフなど長期間ご使用にならない時に収納される場合は、ゴム管口にキャップをつけて収納してください。

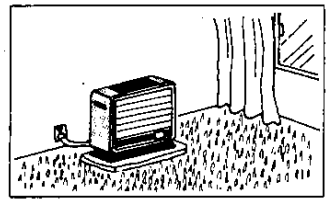
使用ガスの確認

●器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

設置上のご注意（設置状態の確認）

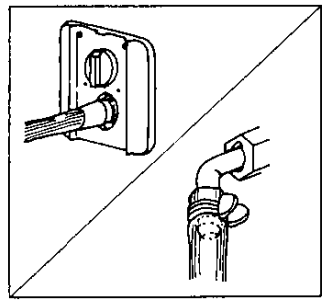
●周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合は、じゅうぶん離れているところでご使用ください。
〔詳しくは3ページ「使用場所についてのご注意」の項参照〕

●毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、丈夫な不燃性の台にのせて使用してください。

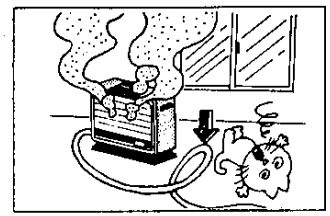


ゴム管の接続

●ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりととめてください。
9.5mmφ（内径9.5ミリ）のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで、じゅうぶん差し込んでゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかりとめていないと、知らずにはずれかかって ガス漏れが生じることがあり危険です。

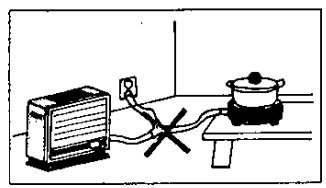


●ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かく（3m以内）、器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
器具の下を通したり、器具に触れていると、ゴム管が過熱して早く傷んだりして危険です。



●ゴム管の継ぎだしや二又分岐は行なわないでください。

●ガスコード（強化型小口径ガスホース）は、13A器具のみ使用可能です。



ゴム管のとりかえについて

●ゴム管は良質なものを用い、時々とりかえてください。
（ゴム管のおとりかえの目やすは約3年です）
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。

使 用 手 順

点火前の準備と確認

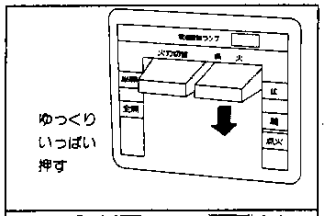
器具周辺の危険物などの点検

●ゴム管が器体に触れたり、危険なところに設置されていないか確認してください。

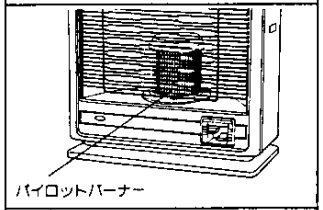
点火前の準備

●器具せんの「止」を確認し、 お部屋の元せんを全開にしてください。

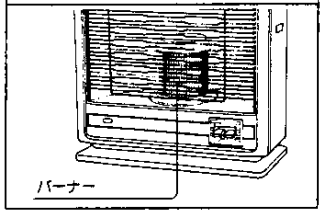
点　　火



①点火レバーを途中で止めずに止の位置から下へ点火の位置までゆっくりいっぱい押すと「パチパチ」スパークして点火します。



②点火レバーナーに着火したことを確かめてからそのまま15秒程点火レバーを押しつづけてください。



③点火レバーより手を離してからバーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。

●着火しなかった場合は、点火レバーを一旦押上げ止にしてから点火の操作を①から繰り返し行なってください。

使 用 手 順 ②

<ご注意>

●点火の際はストーブに顔を近づけないでください。

●購入後初めて点火するときや、シーズン初めに点火するときは、ゴム管に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合は空気がぬけ点火するまで点火の操作を繰り返し行なってください。

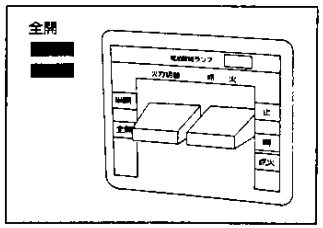
●点火初期に「ブーブー」と音がする場合があります。しばらくすると音はなくなります。

●点火初期にバーナーの赤熱状態が、上下違う場合がありますが数分程でほぼ同じになります。

●点火レバーは、15秒程持ち続けた後、急に手を離しますと「止」の位置まで戻ってしまう場合がありますのでゆっくり手を離してください。
また、点火レバーを強く押したり、足で押さえたりしないでください。

火 力 切 替

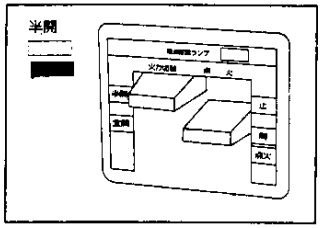
この器具は、点火と火力切替のレバーが別々になっています。
火力切替の時は左側の「火力切替」レバーを操作し行なってください。



全開でご使用の場合

切替レバーを全開の位置へいっぱい押しますと「全開」の状態になります。

<ご注意>
メーンバーナーに着火し赤熱するのを確かめてください。



半開でご使用の場合

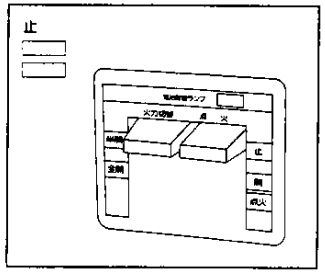
切替レバーを半開の位置へいっぱいに押し上げますと「半開」の状態になります。

使 用 手 順 ③

空 気 調 節

この器具は各ガスの種類に合わせてあらかじめ空気調節をしてありますから点火したらそのままお使いください。

消　火



● 点火レバーを上へいっぱい止の位置まで完全にもどして消火してください。

＜ご注意＞
- 必ず火が完全に消えたか確かめてください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒程待ってから点火してください。
- 長時間使用されないとき（就寝時外出時など）は、必ずお部屋の元せんも閉めてください。

使用時のご注意

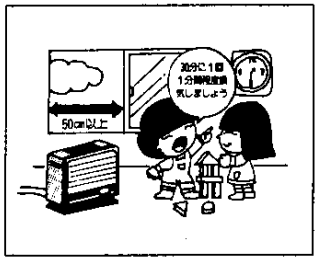
安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中にバーナーが消火してしまった時は、次の方法ならびに17ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

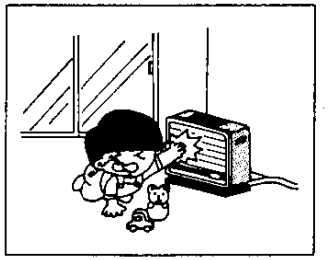
消火センサー

ご使用中にバーナーが消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。
このような場合は、点火レバーを止の位置に一旦戻し、再点火してください。

使用時のご注意

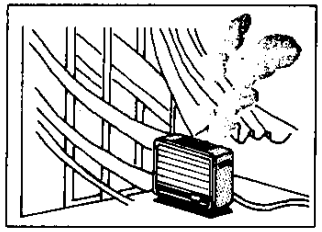


ご使用中は30分に１回１分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。
閉めきった部屋で長時間使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

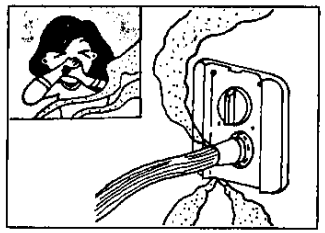


ご使用中およびご使用直後は、器具本体と排気出口、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

使用時のご注意②

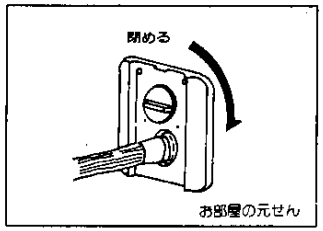


家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
器具を窓ぎわにおくと、長いカーテンを使っている場合、風で吹かれた時などからみつき、火事の危険があります。



ゴム管はガス用ゴム管を用い折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし、器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてご使用ください。

火をつけたまま器具を移動させないでください。

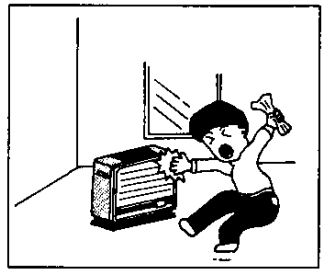


ご使用後は器具せんを閉じ消火を確かめてください。また外出・お寝みの時には元せんも必ず閉じてください。

●異常な燃え方に気をつけてください。
使用中ゴーゴーと音をたて燃え方がおかしくなったときは逆火しています。
点火レバーを㊢の位置までいったん戻し、少し間をおいてもう一度点火操作をしてください。そのまま使用されると器具をいためます。
なお、異常な燃え方がなおらなかったときや火がつかなかった時はご使用にならないで(お部屋の元せんを閉めて)お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意



●点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
●点検で異常を見つけられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
●点検・手入れの前には必ずお部屋の元せんを閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行なってください。
●器具内部の部品（ガス通路など）は絶対に分解しないでください。

点　検

安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
●ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびお部屋の元せんともゴム管口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
●ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
●ゴム管が古くなって、ヒビ割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
●器具の近くに、紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。
●ガードが正しくセットされていますか。
●空気口にほこりがたまっていませんか。

お手入れ

そのつど

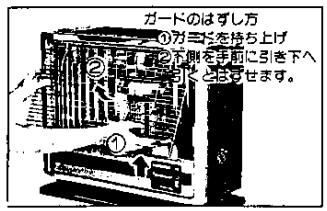
・器体外装

やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。

<ご注意>
ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。色があせます。

・反射板

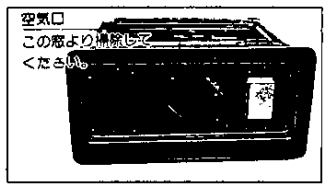
反射板は、ガードをはずしてお手入れしてください。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、変色したようになりますので欠かさないようにしてください。



ときどき

・空気口

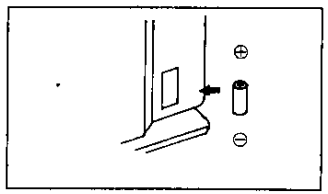
シーズン初めのご使用前およびその後一カ月に1回程度、バーナー空気口(空気取り入れ部)にたまったほこりやごみなどを掃除機などで取り除いてください。



<ご注意>
器具内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。

部品の交換

- 点火用の電池は電池ケース（器具後側にあります）にはめこんでください。電池は単1（1.5V）1個使用です。
- 電池確認ランプは電池が正しくセットされ点火操作したとき点滅します。正しくセットされても点滅しないときは消耗しています。新しい電池と交換してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

現象 / 原因	点火しない・点火しにくい	点火レバーより手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしにくい	爆発的に着火する	使用中に消火しやすい／消火した	バーナー十分赤熱しない		処置方法	参照ページ
お部屋の元せんの開け忘れ	○								器具せんを一旦閉じてからお部屋の元せんを全開にする	10
お部屋の元せんの開き不じゅうぶん	○	○		○	○		○			
ゴム管内に空気が残っている	○			○					ガスが正常に出るまで点火操作を繰り返す	10
ガス圧が適切でない	○			○	○		○		他の器具も同様の場合は点検を依頼する	–
ゴム管の折曲り・つぶれ	○	○		○		○	○		ゴム管をなおす	9
ゴム管のお部屋の元せんへの差し込み不足	○	○	○	○		○	○		ゴム管をじゅうぶん差し込む	9
ゴム管の差し込み部分の劣化・軟化	○	○	○	○		○	○		ゴム管を交換・先を切りつめる	9
点火レバーの保持時間の不足	○	○							点火レバーの保持時間を長くする	10
消火センサーが作動		○				○			点検・修理を依頼する	–
点火装置の故障	○									
炎検出部の汚れ		○				○				
乾電池の消耗	○								乾電池を取替える	16

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

なおご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……(ガス赤外線ストーブ)

(2) 品　番……(例)

(4)(7) 43-622 (U)

大阪ガス株式会社 00

(3) 現　象……(できるだけ詳しく)

(4) 道　順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

●**ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

●**この器具には保証書がついています。**

このガスストーブは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

長期間使用しない場合

15ページの「お手入れ」に従ってお手入れし、ガス通路にほこりが入らないようゴム管口にキャップをつけてビニールカバーをかぶせ、ダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

特　　長

1 このストーブはセラミックプレート式バーナーを採用しています。放射効率が高く加熱時間が短くてすみ、たいへん経済的です。

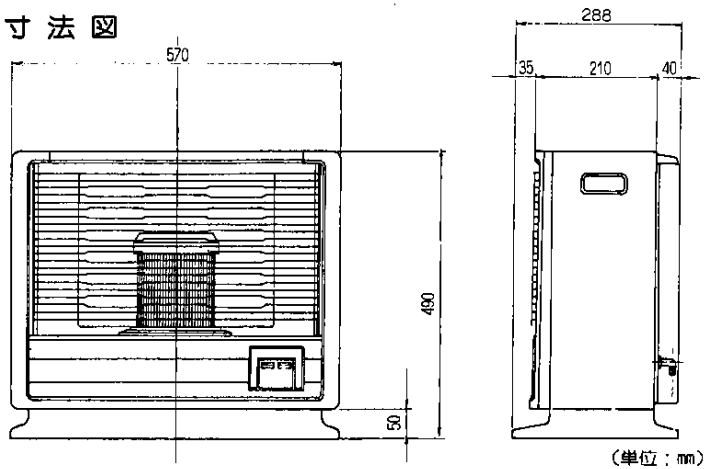
2 消火センサー付ですので、万一バーナーの火が消えても安全バルブを閉じて生ガスの放出を最少限におさえます。

3 セラミックプレート式筒型バーナー（全周放射式バーナー）採用と大型の反射板により幅広い放射熱とソフトな暖房が得られます。また、バーナーは上下２段切替式ですのでお部屋の状態に合わせて、全開、半開に切替えて使用することができ経済的です。

4 電池式連続放電点火式の採用とレバー式コントロールの採用により点火操作がソフトな感覚となりました。また点火も１回の操作で確実な点火が得られます。

寸法図と仕様一覧

寸 法 図



（単位：mm）

仕様一覧表

品名		43-5138	43-622
種類	設置の形態	すえ置式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	放射式	
外形寸法	高さ	490mm	
	幅	570mm	
	奥行	288mm	
重量		9.8kg	10.0kg
接続		9.5mmφガス用ゴム管	
点火方式		連続放電点火方式	
暖房の目やす		6畳～9畳	8畳～12畳
安全装置		消火センサー	
都市ガスグループ		1時間当たりのガス消費量	1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	6A	2650 kcal/h	3450 kcal/h
	6C	2650 kcal/h	3450 kcal/h
	13A	2950 kcal/h	3800 kcal/h
LPガス用		0.23 kg/h	0.30 kg/h

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから
（火気に注意して）、大阪ガス支社にご連絡ください。